

東久留米市教育委員会 殿

学校名
東久留米市立神宝小学校

校長 大野 寿久 印

令和3年度教育課程について（届）

このことについて、東久留米市立学校の管理運営に関する規則第20条により、学校教育法施行規則第138条の規定に基づく知的特別支援学級の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重と個性の伸長を基調とし、主体的に社会の変化に対応し、思いやりと規範意識をもち社会に貢献しようとする意識を育て、心身共に健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を定める。

- ◎よく聞き進んで考える（物事の本質をとらえ創造的・実践的な思考をする）
- 助け合って実行する（公正な態度と思いやりをもって助け合う）
- 身体をきたえる（進んで身体をきたえ健康な体をつくる）

令和3年度も引き続き「よく聞き進んで考える」を重点目標に定め、その具現化に努める。

(2) 特別支援学級の教育目標

- ◎よく考え最後までがんばる子
- 友達と仲良くし助け合える子
- 心身共に健康で元気な子

令和3年度も引き続き「よく考え最後までがんばる子」を重点目標に定め、その具現化に努める。

(3) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 具体的・体験的な活動を重視し、児童の生活が豊かで充実したものとなるように基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指し、勤勉に学ぶ姿勢の育成と個に応じた指導の充実を図る。
- イ コミュニケーション能力の素地や基礎を養うための具体的な指導を工夫し、ALTを有効に活用し、グローバル社会で豊かに過ごすことができる人間を育成する。
- ウ 校内委員会、特別支援教育コーディネーターを活用し、特別支援教育の充実を図る。
- エ 人権尊重の理念に基づき、学校、家庭及び地域の連携を図ることで児童が人権を相互に尊重できる環境作りを行い、優しい心を育てる。
- オ 「道徳」の目標に基づき、学校教育全体を通して行う道徳教育の指導に重点を置くとともに、道徳の授業については評価を通して充実を図る。
- カ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた組織的な取組を行い、未然防止・早期発見・早期対応を通じて優しい心を育成する。
- キ 地域・外部人材を活用し、体験活動等を踏まえた教育活動の充実を図り、地域との連携を推進する。
- ク オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念等の理解及び、国際理解を深め、レガシーを見据え、オリンピックパラリンピック教育の推進を図る。
- ケ 児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果を活用し体力向上を図る。
- コ PDCA サイクルの活性化のために、児童・保護者・市民による毎年の評価結果を公表する。また、経営企画会議を設置し、主任教諭によるOJTや評価・改善などを推進し、学校組織としての機能強化を図る。